

ITOCHU ENEX
TEAM IMPUL

Race Report

2018 SUPER FORMULA Round2
AUTOPOLIS SUPER 2&4 RACE
2018.5.12 sat ~ 13 sun

HOSHINO RACING

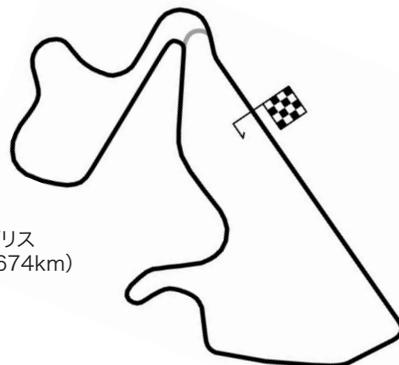
平川亮 予選トップも無念の悪天候決勝中止

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

No.19 関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi

No.20 平川 亮 Ryo Hirakawa

早いものでスーパーフォーミュラも第2戦のレースを迎えました。オートポリスでのラウンドは例年秋に行われていましたが、今年は5月に開催されます。前戦鈴鹿で見せた、関口雄飛と平川亮の2名のドライバーのポテンシャルがなお存分に発揮される好レースとなることを期待し、レースウィークを迎えました。



オートポリス
(1周 4.674km)

5/12(土) 公式予選

天候:☀ コース:ドライ

気温:24℃ 路面温度:38℃

気持ちの良い陽気で素晴らしい天気となった大分県のオートポリス。開幕戦鈴鹿から3週間、関口雄飛と平川亮はそれぞれの想いでマシンのコックピットへと収まりました。

今回もノックアウト方式での予選開催。Q1は15時50分より始まりました。2スペック用意されているヨコハマタイヤのうち、ミディアムタイヤの装着で争われ、Q2へ進める14台に絞られるこの20分間のQ1、セッション開始と同時にコースへと飛び込んでいきました。まずは1度アタックを行い、関口が9番手、平川が6番手のタイムをマーク。一旦ピットインし、残時間7分を切って再度タイムアタックへと向かいました。平川が1'27.136で3位、関口が1'27.509で10位となり、非常にタイム差が僅差であったこのセッションでしたが2台共にQ2へと駒を進めました。



7分間で行われるQ2は10分間のインターバルの後、16時20分に始まりました。Q3へ進める上位8台をこのセッションで決めます。開始後約1分半で平川がまずは真っ先にコースイン。続いて関口も続きます。チェッカーのタイミングでスピンしたマシンもありましたが、この混乱には巻き込まれることなく、平川がコースレコードを更新するタイム1'26.113で3位、関口が1'26.426で7位と2台揃っての最終Q3への進出を決めました。



Q3は16時37分に始まりました。7分間で行われましたが、序盤は各車ピットで待機しコースインのタイミングを見計らいます。開始約2分半で平川、関口ともにコースイン。ポールポジションを狙いアタックへ入っていきます。2台共に計測2周目でのアタックを敢行。まずは平川がチェッカーとほぼ同時に1'25.937と、ここでもコースレコードを更新するタイムでトップ浮上。監督の星野一義をはじめメカニックたちが見守るピット内はドッと歓声に湧きます。続いて関口を含み数台がタイムアップしてきますが、平川を上回れず。平川亮が見事スーパーフォーミュラ自身初の予選トップとなりました。前戦鈴鹿での接触に対して3グリッド降格のペナルティが出ていたため、決勝レースは4番グリッドからスタートを切ることになりました。一方の関口は1'26.625で6位となりました。

5/13(日) 決勝レース

天候：☀️ コース：ウエット

気温：℃ 路面温度：℃

決勝レース距離 4.674km×54Laps=252.396km



前日の予選日とは打って変わって朝から雨、そして非常に濃い霧に見舞われてしまいました。朝のフリー走行は中止、大会スケジュールにも大きな変更が出ました。その後は、雨も上がり徐々に霧も晴れてピットウォーク時には天候は好転していましたが、昼過ぎより再び降雨となりウォームアップ走行では平川亮がスピンを喫して赤旗中断となるなどその天候の影響が懸念されていました。決勝レースグリッドへの試走がディレイとなり、大会主催者や各チームの代表者などが集められて協議の結果、安全面を考慮して決勝レースの実施は中止となりました。

鈴鹿では関口の表彰台、そして今回のオートポリスでは2台揃ってQ3へ進出した上に平川が予選トップと、非常にいいムードで決勝日を迎えていただけにファンの皆様にはレースをお見せできず残念でなりません。次戦が開催されるのは昨年と一昨年と関口雄飛が優勝しているスポーツランドSUGO。2週間後の第3戦も引き続きITOCHU ENEX TEAM IMPULへのご声援よろしくお願いします。

TEAM IMPUL Next Race Information

SUPER GT 第3戦 5/19 (土) ~20 (日) 鈴鹿サーキット

全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 5/26 (土) ~27 (日) スポーツランドSUGO

www.impul.co.jp  @IMPUL_official  IMPUL.official



2018 年 協賛会社様

TOYOTA

YOKOHAMA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.

Mobil 1

 **カースタレンタカー**



ENEOS



homenex

carenex



ENKEI

NGK
SPARK PLUGS

PUMA

Arai
HELMET

Ni again

JVCKENWOOD

METAL SURFACE TREATMENT
WPC

Happiness in Your Life
iii 広島トヨペット

Keeper
COATING FOR SMART CAR LIFE

登戸石油

CHOOSE NanoTech
High Performance Coating

ThreeBond

JUNACK

Kiiva
ENERGY DRINK

JIMPUL



5/12(土) 公式予選

天候：☀ コース：ドライ

気温：24℃ 路面温度：38℃



■ Qualifying							2018.5.12
Po	No	Driver	Team/Type	Q1	Q2	Q3	
1	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'27.136	R1'26.113	R1'25.937	
2	5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M5S SF14 Honda HR-417E	1'27.360	1'26.476	R1'26.038	
3	6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	DOCOMO DANDELION M6Y SF14 Honda HR-417E	1'27.218	1'26.292	1'26.226	
4	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	ORIENTALBIO KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'27.379	R1'26.110	1'26.296	
5	65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'27.053	1'26.324	1'26.590	
6	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'27.509	1'26.426	1'26.625	
7	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'27.123	1'26.292	1'26.714	
8	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'27.513	R1'25.799	1'26.732	
9	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'27.408	1'26.476		
10	4	山下 健太 Kenta Yamashita	ORIENTALBIO KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'27.518	1'26.554		
11	15	阪口 晴南 Sena Sakaguchi	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'27.393	1'26.964		
12	17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	1'27.435	1'36.021		
13	36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'27.521	1'38.963		
14	50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	B-Max Racing SF14 Honda HR-417E	1'27.550	1'43.627		
15	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'27.570			
16	37	ジェームス・ロシター James Rossiter	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'27.631			
17	64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'27.645			
18	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	UOMO SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'28.647			
19	7	トム・ディルマン Tom Dillmann	UOMO SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'28.934			

車両：SF14 / タイヤ：ヨコハマ

予選通過基準タイム (Q1:107%) 1'33.146

R=コースレコード (従来のコースレコード 1'26.196)

2018年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 決勝レースは、天候不良のため中止となりました。

RANKING

■ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Total
1	16	山本 尚貴	11							11
2	19	関口 雄飛	8							8
3	5	野尻 智紀	6							6
4	1	石浦 宏明	5							5
5	65	伊沢 拓也	4							4
6	17	塚越 広大	3							3
7	3	ニック・キャッシュ	2							2
8	36	中嶋 一貴	1							1
9	4	山下 健太	-							-
10	18	小林 可夢偉	-							-
11	37	ジェームス・ロシター	-							-
12	6	松下 信治	-							-
13	2	国本 雄資	-							-
14	50	千代 勝正	-							-
15	8	大嶋 和也	-							-
16	7	ピエトロ・フィッティパルディ	-							-
17	64	ナレイン・カーティケヤン	-							-
	15	福住 仁嶺	-							-
	20	平川 亮	-							-

■ Team ranking

Po	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Total
1	TEAM MUGEN	10							10
2	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	8							8
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	6							6
4	P.MU/CERUMO・INGING	5							5
5	TCS NAKAJIMA RACING	4							4
6	REAL RACING	3							3
7	KONDO RACING	2							2
8	VANTELIN TEAM TOM'S	1							1
	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	-							-
	carrozzeria Team KCMG	-							-
	B-Max Racing team	-							-

